

スーパーFJ 筑波・富士シリーズ第6戦 2020 筑波チャレンジクラブマンレース 2020年 10月 25日 天候:晴れ 参加14台



2020年 JAF 筑波/富士スーパーFJ選手権シリーズ最終第6戦が10月25日(日)に筑波サーキットで開催された。

コロナ禍の為に5月の第2戦/第3戦が中止、また10月10日の富士での第5戦が悪天候で中止となり、実質今シーズン4戦目でシリーズ最終戦となる。

既に開幕3連勝でシリーズチャンピオンを決めている伊藤駿選手は欠場となったが、今年最大の14台がエントリーした。

そうした中、注目されるのは今シーズン鈴鹿シリーズで開幕から4連勝でチャンピオンを決めた岡本大地選手の出場で、地元勢が彼をどう迎え撃つかに興味が集まった。

《予選》

20分間の予選は午前8時30分に全車コースインする。路面は完全にドライコンディションだ。

まずは前回3位の野島遼葵選手がトップタイムを出すと、前回ポールポジションの草野裕也選手、岡本選手、本田千啓選手という順で続く。

5分経過のタイミングで草野選手が59秒954と1分を切りトップに立つあたりからタイム争いが本格化。野島選手が次の周回には59秒574でトップを奪い返す。

7分時点で岡本選手が59秒560で初めてトップタイムをマークするもすかさず野島選手が59秒475で逆転、草野選手も59秒493を出して岡本選手は3番手に後退。草野選手はその勢いのまま11分時点でベストタイムとなる59秒232をマークしてトップに立った。野島選手、岡本選手に続く4番手には関根陽幹選手が59秒台に入れて上がってくる。

ここで各車の順位が落ち着く中、野島選手がひとり自己ベストを出し続けて草野選手のとのタイム差を詰め続け、最終的に59秒271と0.039秒差まで迫るが再逆転はならず予選終了。草野選手の連続ポールポジションが確定した。

注目の岡本選手は59秒390と野島選手と0.119秒差で3番グリッドから初の筑波のレースに挑むことになった。

セカンドロウ争いは内藤大輝選手が最終ラップに自己ベスト59秒553をマークして関根選手に迫ったが0.055秒差で関根選手がそのまま4番手を守った。

マスターズクラスのトップは総合6番手の秋山健也選手が一人59秒台に入れ、岡本選手同様鈴鹿から遠征の夕田大助選手、同じく上吹越哲也選手が総合9番手、10番手で続いた。

(予選後のコメント)

・ポールポジション 9号車草野選手(Sウィングス花島・10VED) 59秒232

「タイムを確認したら僅差の予選でした。前回と同じ状況でポールは取れましたが、僅差なので尚更気は抜けません。決勝に向けてはいろいろ(戦い方を)考えて挑みたいです。」



・2位 66号車野島選手(Deep-R・10V・ED) 59秒271

「前半はタイヤのグリップもよく調子が良かったのですが、後半は熱さでタイヤがタレてタイムが出なくなりました。決勝では、前回(優勝)の伊藤選手の様にスタートで前に出て逃げられればいいのですが、草野選手が相手ではそうもいかないでしょうね。その場合は食らい付いて行って最後に追い越したいです。」

・3位 8号車岡本大地(FTK・レヴレーシング) 59秒390

「(予選タイム差を聞いて)激戦ですね。すごい難しかったです。初めての筑波でタイヤの内圧の最適値も分からなくて、とりあえず鈴鹿のセットのままで走りました。ニュータイヤでどれくらい走れるかも分かっていなくて、思っていたのとはタイヤの様

子が違って、予想とは違った(展開になった)感じでした。

決勝に向けては改善策が見えたので色々試してみます。筑波は鈴鹿ともオートポリスとも全然違い、とても勉強になるコースです」

《決勝レース》

定刻 11 時 5 分に全車コースイン。好天气に恵まれ路面は引き続きドライコンディションだ。

レッドライト消灯と同時に 3 番グリッドから岡本選手が飛び出し、加速が弱かった野島選手をかわすと、1 コーナーの進入ではアウト側から草野選手に並びかける。2 台は 1 コーナーから S 字へと並走を続けるが、第 1ヘアピンでインを取った岡本選手が草野選手をオーバーテイクしてトップに立った。3 番手野島選手以下、関根選手、内藤選手はスタート時の順位をキープしている。2 位に落ちた草野選手だが 0.5 秒前後の差で岡本選手を追走する。これに対して岡本選手は 4 周目、5 周目と連続でファステストラップを出して逃げようとするが草野選手も 6 周目にファステストラップを出してこれに対抗。岡本選手にプレッシャーをかけ続ける。野島選手はこの 2 台の攻防から次第に離されていくが 4 位関根選手以下とは 3 秒以上の差で 3 位を守っている。

後方ではマスターズクラスの上位争いに変動があり、総合 7 位を走る秋山選手に続いて、夕田選手をかわしたチームメイトの上吹越選手が自己ベストを出しつつ総合 8 番手のクラス 2 位に上がる。

草野選手は中盤からペースを上げてトップを追い上げる得意のレースパターンに持ち込み、9 周目 0.465 秒差、10 周目 0.397 秒差と岡本選手の



背後に迫るが、岡本選手も粘り 11 周目 0.498 秒、12 周目 0.917 秒と草野選手とのギャップを拡げてみせる。

ここからファイナルラップまで両者は 0.7 秒前後の間隔で神経戦を繰り広げたが、最後まで岡本選手が守り切り、0.832 秒の差でトップチェッカーを受けた。草野選手は悔しい 2 戦連続の 2 位に終わった。3 位は野島選手がスタートから順位を保持して 2 戦連続の表彰台を獲得。久々にレースが成立したマスターズクラスの優勝は秋山選手、続いて上吹越選手、夕田選手と鈴鹿から遠征の 2 台が続いた。



(決勝後のコメント)

- ・優勝 8号車岡本大地(FTK・レヴレーシング)

「スタートダッシュが決まりました。トップに立った後もフルプッシュで走りましたが、速さ自体は草野選手の方があったように感じていました。第1ヘアピンで抜いた後は逃げ切り体勢に持ち込みたかったのですが、突き放せませんでした。草野選手の方がスピードがあり・・・スリップが効いてるという部分もあったとは思いますが・・・、彼がクリアに走っていたら追いつかれていたかも知れません。ただ彼の方にも細かいミスがあって離れたり近づいたり、という展開になったのではないかと思います。決勝に向けてセッティングの変更は タイヤの内圧を調整した他に、予選後に他のマシンを観察してキャンバーとか違う様子だったのでそこだけ改善して決勝に挑みました。多少は前進したかな、という感じでそれほど大幅に良くなった訳ではないですが予選よりはよかったです。」

- ・2位 9号車草野裕也(S ウィンズ花島・10VED)

「なかなか相手に仕掛ける所まで行けなかったです。調子は普通でしたが、自分

の力が足りませんでした。相手が(早かった)というより自分がまだまだで、クルマは絶対勝てるクルマだったのに、自分がポテンシャルを最後まで引き出す事ができなかった、というのが正直なところです。」

・3位 66号車野島遼葵(Deep-R・10V・ED)

「スタートで(タイヤが)空転気味でミスしてしまいました。実は予選の時に少し身体を痛めてしまって、レース中も痛みが続き後半にどんどん酷くなっていてレースに集中しきれませんでした。」



・マスタースクラス優勝(総合7位) 3号車秋山健也(スーパーウィングズ KKS・ED)

「前はマスタースクラスが1台きりで淋しかったのですが、今回は今年一番の台数が集まりよかったです。クラスでなく総合での表彰台を目指していましたが上位のペースには追いつけませんでした。」

今年の筑波/富士スーパーFJ選手権シリーズ戦は本レースにて終了した。チャンピオンシップは開幕から3連勝した伊藤駿選手が獲得、ランキング2位は本田千啓選手、3位草野裕也選手という順位になった。

なお、今年のスーパーFJ日本一決定戦は12月5日~6日にツインリンクもてぎで開催される。

2020 TSUKUBA CHALLENGE CLUBMAN RACE

ROUND-4 2020-10-25



VICIC Brains

オーガナイザー：ビクトリーサークルクラブ
ブレインズモータースポーツクラブ
公認：日本自動車連盟 (JAF)
コース：筑波サーキット コース 2000

2020JAF筑波／富士スーパーFJ選手権シリーズ第6戦



Tsukuba Circuit(2,045m)

S-FJ 公式予選

正式予選結果表

2020 / 10 / 25 :

Weather : 晴れ

Track : ドライ

Pos	No	Class	C.P.	Name	CarName	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. Km/h
1	91			草野 裕也	Sウインス花鳥.10VED	RD10V	59.232	10 / 20		124.291
2	66			野島 遼葵	Deep-R・10V・ED	RD10V	59.271	14 / 20	0.039	124.209
3	8			岡本 大地	FTK・レウレーシング	KKS-2	59.390	10 / 20	0.158	123.960
4	1			関根 陽幹	オートルック☆10V	RD 10V	59.498	11 / 20	0.266	123.735
5	22			内藤 大輝	RCIwithRaiseUP	KKS-2	59.553	18 / 18	0.321	123.621
6	3	MASTERS	1	秋山 健也	スーパーウインス KKS・ED	KKS	59.919	18 / 20	0.687	122.866
7	73			下村 剛司	Sウインス KENS2ED	KKS-2	59.989	18 / 19	0.757	122.722
8	7			本田 千啓	オートルック☆モダン☆10V	RD10V	1'00.071	14 / 16	0.839	122.555
9	0	MASTERS	2	夕田 大助	KKS-2	KKS-2	1'00.161	14 / 20	0.929	122.372
10	9	MASTERS	3	上吹越 哲也	KKS-2	KKS-2	1'00.163	20 / 20	0.931	122.368
11	71	MASTERS	4	林 寛樹	ゼンカイレレーシング遊技関連ED	KKS-2	1'00.917	15 / 19	1.685	120.853
12	12	MASTERS	5	塚本 成人	NRS エントレス KK-S2	KKS	1'01.011	12 / 19	1.779	120.667
13	46	MASTERS	6	本間 隆史	matRacingPRJ10V	RD10V	1'01.459	16 / 18	2.227	119.787
14	82	MASTERS	7	稲生 幸敏	NRS TWS-ED KKS II	KKS-2	1'01.847	5 / 19	2.615	119.036

***** 以上予選通過 (1'17.086 - 130%) *****

2020JAF筑波／富士スーパーFJ選手権シリーズ第6戦



Tsukuba Circuit(2,045m)

S-FJ 決勝

正式決勝結果表

2020 / 10 / 25 :

Weather : 晴れ

Track : ドライ

Pos	No	Class	C.P.	Name	CarName	Type	Lap	Total Time	Gap	Best Time	Lap	Ave. Km/h
1	8			岡本 大地	FTK・レウレーシング	KKS-2	18	18'01.671		59.616	8 / 18	122.510
2	91			草野 裕也	Sウインス花鳥.10VED	RD10V	18	18'02.503	0.832	59.489	9 / 18	122.416
3	66			野島 遼葵	Deep-R・10V・ED	RD10V	18	18'04.080	2.409	59.710	12 / 18	122.238
4	1			関根 陽幹	オートルック☆10V	RD 10V	18	18'09.347	7.676	1'00.015	14 / 18	121.647
5	22			内藤 大輝	RCIwithRaiseUP	KKS-2	18	18'10.906	9.235	1'00.042	14 / 18	121.473
6	7			本田 千啓	オートルック☆モダン☆10V	RD10V	18	18'12.402	10.731	59.941	10 / 18	121.307
7	3	MASTERS	1	秋山 健也	スーパーウインス KKS・ED	KKS	18	18'15.758	14.087	1'00.192	17 / 18	120.935
8	9	MASTERS	2	上吹越 哲也	KKS-2	KKS-2	18	18'26.256	24.585	1'00.752	15 / 18	119.788
9	73			下村 剛司	Sウインス KENS2ED	KKS-2	18	18'26.693	25.022	1'00.690	15 / 18	119.741
10	0	MASTERS	3	夕田 大助	KKS-2	KKS-2	18	18'35.967	34.296	1'00.694	16 / 18	118.745
11	71	MASTERS	4	林 寛樹	ゼンカイレレーシング遊技関連ED	KKS-2	18	18'48.826	47.155	1'01.651	15 / 18	117.393
12	12	MASTERS	5	塚本 成人	NRS エントレス KK-S2	KKS	18	18'49.013	47.342	1'01.096	14 / 18	117.373
13	46	MASTERS	6	本間 隆史	matRacingPRJ10V	RD10V	18	18'51.385	49.714	1'01.749	9 / 18	117.127
14	82	MASTERS	7	稲生 幸敏	NRS TWS-ED KKS II	KKS-2	17	18'19.410	1Lap	1'02.793	11 / 17	113.837

***** 以上完走 (16Laps) *****

